

協同で地域をつむぐ

—— 人として生きる ——

2014協同集会 in 北海道報告集



恵庭

10月19日(日) 13:30~16:20

アールビーパーク 3階 視聴覚室

苫小牧

11月9日(日) 13:00~16:00

苫小牧市文化交流センター

手稲

11月16日(日) 9:30~16:30(分科会 13:30~)

溪仁会ビル2階会議室

札幌

1月31日(土) 10:00~15:45

札幌市民ホール 会議室

実践報告 就労困難者を雇用する

北洋建設株式会社 代表取締役 小澤 輝真



内容

(小澤社長)

北洋建設株式会社 小澤と言います。私ですね、ちょっとしゃべり方がおかしいんですけども、歩き方も変なんですけども、「脊髄小脳変性症」といまして。「1リットルの涙」というテレビ番組があったと思うのですが、あれと同じ病気ですね。3年前に発病しまして、ちょっと話し方が変なのでご容赦下さい。

今、うちの会社というのは、僕が生まれる前から犯罪者とか雇ってまして、だいたい今まで300人以上いました。現状は今4人程、元犯罪者を使っています。そんな感じで今、やっているのですけれども。それ以外に厚生労働省の制度で、札幌でいろいろやっています、その一環としてワーカーズコープさんを仲介しまして、うちの会社で就労困難者という人の受入をやっています。隣のT君がそうなのですけれども、今まで彼はほとんど1ヶ月以上、仕事が続きませんでした。今は、週に5日

4ヶ月目を迎えます。そんな感じで、彼の体験談を聞いてみたいと思います。

「始めまして、私、Tと申します。北洋建設には9月から入社して、ワーカーズコープさんの紹介で入ったのですが、僕はもともときつい仕事をしたり、1ヶ月も持たない感じだったのですけども、北洋建設に入ってからもう4ヶ月たって、もう来月あと10日したら5か月目になります。まあ僕が1ヶ月も持たなかった理由って、まあ僕自身がちょっと周りが変わっていることもあったのですが、まあそういう僕自身が変なところと、やっぱり社会に馴染めない人間になってしまっていることもありまして。でも、北洋建設さんはそういうことが当たり前になって、もうそういう人しかいないなあって。僕なんかも普段から周りの人達に助けをもらいながら働いて、そういうのがあって、やっぱり今まで続けられてきたと思っています。今、最近、部屋が変わって、中卒の子と今、一緒に過ごしていますけど、やっぱりそういう子と過ごすのもぜんぜん悪くはないなと思っていますし、やっぱりこういう社会に馴染めなかったり、やっぱり間違いを犯して、出所、あのう刑務所に入ったりした人を受け入れてくれるところがいいところなのだと僕は思っています。すみません、自分のことで。」

(小澤社長)

今の様な感じですね。うちの会社、中学校の就職者っていうのは、全国ナンバーワンです。うちの会社って、裁判所の委託ってやっています、少年院の代わりをやっています。うちで裁判官が来て書記官も来て、裁判をやったりします。これは非常に珍しいことです。更に少年審判とって、普通は出られないけれど、僕らは出られる権利があります。弁護士と同じ様なもので発言もできます。そういう権利を与えられて、鑑別所とかにも普通に行って、親しか会えないところに行って、これは本人に会えます。そういう権限ですけれども。そんな中で今まで30人以上、こういう子がいたんですけれども。その他にも今、「職親プロジェクト」といまして、法務省が特に力を入れていて、日本財団がこれを取扱っています。それに唯一北海道で参加しています。

また、今まで補助金とか助成金というのは一円ももらったことがありません。うちの会社は、働いていれば、給料は出せます。けれども、今、障がい者がいますが、その障がい者を正式に雇用すれば助成金をもらえるんですが、もらっていません。なぜかという「うちの会社で、仕事を覚えてもらって、自信がついたらやめて、別の所に行きなさい」と言っています。うちで使ってしまうとその人は雇用して助成金が入ってきますが、でもその人しか使えませんよね。そうではなくて、うちで勉強してもらって、うちの会社の名を出していいから、別の所へ行って下さいと言っています。行政にはそういう会社は全く相手にされません。だから助成金は1円もありません。うちの会社を辞めて他の所に行ったとなれば、そこには助成金ができます。

先程の「補導委託」ですが、どういったことをやっているかという、少年院の代わりをやっているその子と面接の時に、「少年院がいいのか、うちがいいのか」を選ぶんですね。普通、少年院なんて、行きたくないですよ。まず、「うちがいい」と言います、100%「いい」と言います。そして、うちに来て半年間位面倒をみます、その時いろいろ教えますけれど。

ある時、ヘルメットを忘れてきた子がいて、ガツツリ怒ったら、泣いて居なくなりました。そうしたら夜に、うちの会社の資材センターというところに入って、トラックを盗んで、畑に突っ込んで、いなくなりました。翌日、警察から連絡が来て大変なことになっていると言われました。それから警備やレッカーを呼んで、全部きれいにしました。おかげでうちの会社弁償などで300万円掛りました、委託で裁判所から預かっている子ですけれども、法務省から言われた言葉は「すみません。」これで終わりでした。保障もなにもありません、全部うちでやらなきゃいけない。その子の親というのはトラックの運転をしています。それでトラックを運転するところを見せたかったらしいんですよ。けれども全然運転なんかできないから突っ込んで、もうダメにしちゃった。その子に請求できるけれど、そんな18歳の子に請求はできませんよ。だから全部うちが払って終わりました。そんなこともありまして。

しかしこういったことをやっているから、うちの会社の従業員の給料なかなか上がりません。だけど、うちの会社の従業員は誰一人と「いや」と言わないんですね。みんな「やる」って言ってくれます。

中学校の卒業生は毎回入ってきます。3年位前に中学校に面接に行きました。お母さんが来なかったので、先生に「お母さんはどうしたのか。」と聞くと「お母さんは1週間前に亡くなりました、と。「なぜ亡くなったのか?」と聞くと「お父さんも亡くなっています。二人ともシンナー中毒でした」と。どんな家庭かという二人ともシンナー中毒で亡くなった家庭です。そんなこと日常茶飯時です。さらにもう一つ、委託で来た子は親が浮気した相手のこどもを作ってしまった、知っているのはお母さん、ばあさんだけでした。兄がいるんですが、だから弟(下の子)は隠して、生まれた瞬間に施設にやっています。そういうことを平気で、いままで何十人といいますが、そういう本当に困った家庭というのを。だからどんなことを言われても「なんだ、そんなもんか。」と思います。「全然いいよ。」と「もっともっとひどい子がいっぱいいるんだよ、大丈夫だよ。」と言っています。

この病気は親父からの遺伝の病気で、親父はこの病気で死にました。そして今、母親しかいないんですが、母親に今、だれが大事に思えるのか、誰が親孝行をするのかという、自分しかいないんですよ。誰も親孝行しない、自分しかいないと思う、だから自分を大事にしています。

僕がどこか外出するときも、T君と一緒に付き添ってくれます。手を貸してくれて、やってくれて、支えて、助けてくれています。じゃ誰のためにやってもらうかという、自分のためなんです。だから、これは自分のためになるんでやっているんです。そうすることによって、みんなが気づいてくれるんです。そうしたらみんなインワインの感じになります。

だから僕がさっき言った障がい者とか犯罪者とかは、犯罪者は後がないんですよ。後がないから、逆にこの子らは一生懸命やってくれています。そのかわり、僕もその犯罪者に対して、やってくれることがわかっているから一生懸命やります。なぜなら自分のためです。そうすることによって、本当にいい感じでやってきているなあとと思います。

テレビに出たことがありまして、その時に近所の方が来たんです、うちの会社に。「あなたのところ、犯罪者がいるのか」と言って、怒鳴って来たんです。その時に言ったのが、うちの会社は除雪を朝、やるんですよ。その時に、融かすところがないから、融かすために融雪機持ってくるんです。融雪機付きで毎朝やっています。近所を全部やっています。それをやっているのは、実は犯罪者がこれまで悪いことをやってきているから、自分たちでやりますと言ってやっているんですよ。寮があって、その寮の周りをやっているんですよ。僕言ったんですよ、近所の人に。「今まで40年仕事をしているけれども、今まで一回でも問題を起こしたことがありますか?」と言ったら、一回もないんですよ、そしてちゃんと家の周りの雪が融けてます。逆にそれが感動されていますね。

今は、ビールとかお酒とか毎日のように持ってきますよ。そういう意味でも近所とも仲が良くなっています。だから、そういう風にして、本当に犯罪者だからいやだと思わずに、犯罪者だからこそ、一所懸命やってくれるんです。僕にとってみれば、そういう問題ある人の方がすごく大事です、うれしいです。そういう人を大事に使ってあげたいです。

これで、僕の報告とさせていただきます。